



## 新年 明けまして おめでとうございます



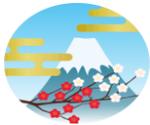
昨年は引き続きコロナ禍の中、賛否両論はあったものの東京オリンピック・パラリンピックが開催され、無事に全日程を終えることができ、選手の皆様から大いに勇気と希望を、また、大リーグでは大谷選手の活躍でこちらも大きな感動をいただきました。

新型コロナウイルスは、次々と変異ウイルスが出てきて、この文章が皆様のお目に触れる時にはどのようになっているのか想像もできませんが、きっと克服していくものと確信しております。

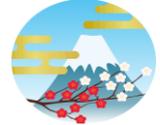
さて、本年は電子帳簿保存法の改正によるデジタル化の推進が加速されるほか、来年10月から開始される消費税のインボイス制度への対応、パワハラ防止法の中小企業への適用、SDGsへの取り組みによるさまざまな影響など問題が山積しています。当事務所では、ウイズコロナ、アフターコロナへの対応をはじめ、関与様ごとにこれらの問題点や課題に対して一つずつ丁寧に対応してまいりたいと考えております。池戸経営会計グループは、関与先様に勇気や希望・安心感をご提供できるよう、関与先様のご要望に応えながら皆様の事業発展のお役に立てるよう社員一同より一層研鑽を積み、努力していく所存でございますので本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、新しい年が関与先様にとって、素晴らしい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。



代表取締役 社長 蜂矢 茂則



## 新年あけましておめでとうございます。



昨年も一昨年に引き続き新型コロナに耐える年となりました。

新型コロナにより我々の日常生活は随分と様変わりし、大きな時代の転換期を迎えています。

企業における勤務形態もリモートワークが推奨され、働き方の多様化が進むとともに人口減少によるAI化が一層進むとも言われています。

今後、企業にとっての最大の課題は新型コロナ以上に人口減少による人材不足になるかと思っています。企業継続の最大の源泉は人材です。如何にして優秀な人材を育成・

確保することができるかが企業継続の重要なポイントになると考えています。

この時代の転換期にどのように生き残りを図るか役職員一同、関与先皆様と共に考え、乗り越えていきたいと思っています。

最後となりましたが、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



専務取締役 木村 正彦